

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【7・8 月度の御金言】 盲瞽の輩、迷惑の人、妄りに邪説を信じて正教を弁へず。故にに天下世上諸仏衆經に於て捨離の心を生じて擁護の志無し。仍つて善神聖人國を捨て所を去る。是れを以て悪鬼外道、災を成し難を致すなり。

『立正安国論』（全集 20 頁）

法華講信条

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991 年 2 月 13 日 掲揚

☆ 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)

「正しい法には力がある。だから信ずる者は病気になる、御金が儲かる、悩みが無くなる、信仰は現世利益の現証が全てを証明しているのである。」

という三段論法？の様な考え方で信仰をとらえている人々が創価学会を含め世の中には沢山います。

「現世利益」「功德論」「罰論」を言わなければ、誰も聞く耳を持たず、食いつきが悪い、動執生疑を起こさせるために必要な方法である。自分が不幸で世の中がおかしいのは、邪宗のせいである。世界中の人々が信仰すれば、病気も苦しみも悩みも争い戦争殺し合いも全て無くなり夢のような平和で幸福な世界と人生が実現出来るんだ。この様に主張し訴えて来たのであります。

それでは、現在のコロナの時代、この現世利益を正しいと信じて来た人達は、この現実に対して、それでも、信仰すればコロナに感染しない、この様な状況は邪宗のせいだと折伏するのでしょうか？それが動執生疑になるのでしょうか？

現世利益で救われ、現世利益で解結出来るものは何一つ無いのであります。

現世利益は人間をだます為の幻影、人間の一番弱く、いやしい欲望をくすぐり、信仰の真実が何かを見失わせる魔のささやきなのであります。

理証→文証→現証の三証が揃ってこそ、正しい法に基づく成仏に向かう線上に存在する信仰の結果という事になるのであります。現証さえ頂ければ、理証も文証も、あっても無くても屁の河童で、結果オーライ、勝てば官軍の強欲驕慢の心で、現証と勘違いしているだけで、ドンドン日蓮大聖人の法を誤解し謗法と化して行くだけなのであります。功德を貰ったと言いながら、日蓮大聖人の法からかけ離れ、やがては、池田先生の指導のもと創価学会に功德が有るなどと言う事が平気で考えられる人間、現世利益欲しさに御題目を唱え、

御題目を唱え乍ら日蓮大聖人の法と無縁の人々を大量に作り出してしまったのであります。

だから、私は「現世利益絶対否定の信心をしよう」と訴えているのであります。どんなに苦しい事、悲しい事、辛い事があっても、法華經の行者として、南無妙法蓮華經の法に叶った生き方をするように努力し、どんな生命にも南無妙法蓮華經の仏の生命が具わって、迷い乍らでも、さぼり乍らでも、仏の生命が具わっているにふさわしい生き方をする様に努力しようとする、その姿が成仏なのであります。どんなに病気や事故で短命でも、健康で長命でも、長短に関係なく、生き方の中味が、そうなる様に努力し、今生人界から去る時に、永遠常住の妙法の生命に帰る事が出来ると、笑顔で南無妙法蓮華經の御題目を唱え（しゃべる体力がなければ、心の中で念ずる）る信念を持つ事が出来る生き方こそが本當の成仏に通ずる功德なのであります。

喰いつきが良くても、嘘は嘘、喰いつきが悪かろうが真実を折伏弘通していかなければいけないのであります。

☆ 7月から日程を元通りにします。三寶院として、コロナ感染予防として、

- ①コロナウイルスは潜伏期間が長い為、自分が保菌者かどうか分かりませんので、飛沫感染防止の為、参詣の時には必ずマスクを着用して下さい。
- ②本堂の椅子を離します。
- ③参詣の折に出していた、ポットの御茶、湯呑は出しません。
- ④暑い季節に向かいますが、本堂の窓を開け換気し、扇風機を回します。
- ⑤洗面所のタオルは出しません。
- ⑥体調不良の時には参詣を自粛して下さい。